

## スクールシャドーQ & A

2009/03/08 神戸定例会  
台素清&藤坂龍司

今回の神戸定例会を前に、事前質問を呼びかけたところ、たくさんのご質問を頂きました。妻による回答をご紹介します。また私による補足説明をカッコ書きで示しました。

<シャドーの受け入れ交渉について>

Q. たいていの小学校はシャドーを嫌がり、断ってくるという気がしています。熱意だけでは、過保護でうるさいお母さん、という印象を与えかねません。相手を説得するためのポイントがあれば教えてください。(Bさん)

A. 最初のうちはただの過保護でうるさいお母さんだと思われたかもしれませんが。でもやっているうちに、過保護の面もあるかもしれないけど、ほかにいろいろなことをちゃんと子どもにさせたり、行事にスムーズに参加させたりしているうちに、学校側の見方が違って来たと思います。(まず母親だけだと甘く見られるので、必ず夫婦で申し入れること。入学半年ほど前に、夫婦でそろって校長先生に面談を申し入れ、父親の口からはっきりシャドーを申し入れることが大切だと思います。次に「ずっと付いているつもりはない。少しずつ離れていく」と言うこと。自分の子どもを冷静に客観的に見ているところを示すこと。例えば子どものできる部分、できない部分を的確に分析して見せるといいでしょう)

<シャドーの具体的な有り様(全般)>

Q. 具体的に、朝何時から何時までシャドーをしていたのでしょうか。毎日ですか。週数日ですか。他の人にシャドーを代わってもらうことはありましたか。(Bさん)

毎日です。一時間目から帰るまで。高機能児ならそのうち時間を減らしてもいいかもしれないけれど、うちは低機能だったんで、ある意味で仕方ありません。高学年になると、音楽は付き添わなくなりました。2回ほど、セラピストのお姉さんに臨時で学校に来てもらったことがあります。(朝、登校から朝の会の終了までが父親の担当。8時45分ごろ、妻が登校してきて、バトンタッチします。それから、小学3年から、普通クラスの支援員が週2~4時間、娘についた。そのときは、家内は教室内で本を読んでいた。)

Q. シャドーが体調を崩し、付き添えないときは、全面的に担任に任せていいのですか?その時だけ加配をお願いするのですか?

体調を崩したらどうしようかな、と思いましたが、幸い一度もありませんでした。PTAの役員になって、役員会があったとき、2回ほど、うちに来てもらっているセラピストのお姉さんに1時間ずつ見てもらったことがあります。(病気で付き添えないときは、娘も休ませるつもりでした。ただお子さんがある程度一人でもやっつけていけるようであれば、登校させて、担任に任せてもいいと思います。その辺は、学校と相談で決めるといいでしょう)

Q. 園でも小学校でも、シャドーのお弁当と椅子も持参するのでしょうか。(Eさん)

お弁当は持参しました。椅子は持参する必要はありません。(地域によっては学校側がシャドーの給食も用意してくれるところもあるようですが、明石ではそのようなオファーはなく、こちらから要求することもしませんでした。お弁当を作る暇はなかったので、私が朝、コンビニでおにぎり1個買い、それを学校の家内のげた箱に入れておきました。おにぎり1個と家から持参したバナナ1本が家内の6年間の昼食でした)

Q. すわる椅子、持ち物、服装など、気をつけた方がいいことなどありましたら、教えてください。(Hさん)

持ち物は、暇な時に読む本、子どもに何かを教えるときに使う紙くらいです。服装は動きやすいもの。ただし先生よりきれいな服装はしないこと。かといって安っぽい服はだめ。

<授業中の支援・学業の支援>

Q. 教室ではどの位置にいましたか(すぐ横に椅子に座っていたなど)。先生が直接お子さんに説明されているときも、そのすぐ横に立って聞いていましたか。また学年ごとに距離を遠ざけて行か

れたのなら、その段階の取り方を教えて下さい。(Fさん)

子どものすぐ横にすわっていました。先生がそばに来て説明している時もそばにいました。小学校6年間、ずっとそうでした。

(いったん教室の後ろに退いてしまうと、元の位置にもどりにくくなるので、なかなか定位置から離れられなかったと思います。勉強の内容もますます難しくなり、そばについて援助しないと付いていけない状況が続きました)

Q. 授業中に問題行動(奇声、笑い、泣き)を起こした時、その都度教室から出て注意することになれば、生徒たちが集中力を失い、親御さんたちからクレームなどが来ないでしょうか。(Eさん)

低学年の時、外に出して注意したことがありましたが、ほかの生徒のことを考えて、できなくなっていました。それからは教室内で、小声で注意するだけにしました。泣いてしまうこともあったけど、どうしようもなく、教室内で泣かせるしかありませんでした。ほかの生徒はすぐに慣れてしまい、娘が泣いても、見なくなりました。クレームが来たことはありません。

Q. なんとしてでも授業についていかせるようにしましたか(つまりオリジナルの教材は使わず、みんなと同じ教科書しかもたせない)。帰宅してからフォローするために努力した点も、教えて下さい。それともある程度、もう無理だと思えば、オリジナルのプリントを持たせて、授業中それをおとなしくやらせる方向になりましたか。もし授業についていかせることが無理だと、途中から思われたとしたら、それは何年生くらいでしたか。(Hさん)

「何としてでも」ではなくて、できれば付いて行かせるようにしました。だけどできない部分も多々あります。授業についていけないときは、落書き帳を持たせておいて、そこに落書きを書かせたりしました。学校の教材以外の教材(市販のワークなど)を持ち込んだことはありません。

中学生になった今は、ノートをとるのが忙しくて、かえって授業中、手持無沙汰、ということはありません。

(娘が新しいことを習得するにはたくさんの時間が必要だったので、家庭での予習、復習にずいぶん時間をかけました。学校は家庭での学習成果を發揮する場、そして新しい課題を提示される場であり、真の学習は家庭で行いました。その家庭学習ももっぱら妻が担当しました)

Q. 小学校の普通クラスの授業で、子どもに習得が難しい科目はどうフォローしたらいいのでしょうか。例えば社会とか道徳の時間とか、体育のルールを伴うボール球技など。総合学習などで班になって課題を成し遂げる場合は?(Cさん)

社会はまあまあできました。3, 4年生の地域社会の学習は難しかったけど、5, 6年で歴史の授業になると、かえってやりやすかった。道徳は全く理解できませんでしたので、落書き帳に好きなことを書かせて、時間を潰していました。

体育のドッチボールはその場でルールを教えて、何とかできるようになりました。

<体育や集会、行事の時の支援>

Q. 教室で座って授業を受ける時以外(体育の授業、集会などなど)の時は、どういう関わりをしていましたか。(Bさん)

Q. 体育や発表会など、授業時間以外の時間は、どの位置にいましたか。(Fさん)

体育館での集会のときは、体が大きかったこともあって、クラスの列の一番後ろに座らせてもらい、なにかあるとすぐに介入できるようにしました。列の真ん中だと、行事の途中に問題があっても、そばに行きづらいので。

体育はできるところは離れたところで見ていました。できないところはそばにいて、指示を出しました。

(運動会や音楽会のときは、足手まといにならないように、一生懸命でした。練習のときはそばについて指導し、家でもたくさん練習しました。シャドーとして付き添っていると、プログラムの内容や、子どもができないところがすぐわかるので、練習させる上で大変助かりました。本番一週間前になると、もうそばには付かずに、一人にさせました。本番もそばにはつかないで、観客として見ていました)

<休み時間の援助。友達との関わり>

Q. 休み時間はどういう関わりをしていましたか。特に小学校低学年の頃はどうかでしたでしょうか。(Bさん)

Q. 休み時間はどのように過ごしていましたか。学年が上がるごとに、「一緒に遊んで」などといって参加させるのが難しくなっていくと思いますが、他のお友だちとの関わりについてのプロンプトの仕方、できれば、低学年~高学年についてのやり方の違いを教えてください。(Fさん)

Q. 休み時間は、どういう風に他の子と関わりを持っていけばよいでしょうか。5分休み、20分休みの両方で、具体的な遊び例、話しかけの切り口や話題などあれば、教えて下さい。(Hさん)

低学年の時は、みんなのところに連れて行き、みんなと同じことをさせました。ブランコやなわとびなどです。縄跳びもたくさん練習しました。  
高学年になると、女の子は難しくなって、外遊びよりおしゃべりに夢中になります。そうなると一緒に遊べなくなりました。さいわい、仲良し学級の担任と仲良くなったので、長い休憩時間には仲良し学級に連れて行きました。そこでパズルをさせたりしました。親切的なクラスメイトも一緒に遊びに来るので、その子たちに相手をしてもらったりしました。

Q. シャドーと他のお子さんとの距離感ほどの程度のものだったですか。(Gさん)

基本的にはあまり親しくしないようにしました。

Q. 他の子どもにからかわれたり、意地悪されたりしたら、シャドーとしてはどのように対応するのがよいのでしょうか。(Iさん)

いじわるされたこともあります。ほかの子を怒るわけにはいかないので、我慢するしかありませんでした。  
ほかのクラスや学年の子が不思議そうに見ているときは、「この子は自閉症です」と最初から説明しました。

<昼食時の関わり>

Q. お昼ごはんはどうされていましたか。教室内で一緒に食べていましたか。(Hさん)

持参したおにぎりや果物を、娘の隣で一緒に食べました。  
(同じ班の子どもたちとおしゃべりしたりして、楽しい時間だったようです)

Q. 昼食時はどういう関わりをしていましたか？息子は保育園ではほとんど自分からおかずを食べることがありません。今は保育士が「これ食べたら、パンあげる」などというときもあ、という程度です。(Bさん)

娘が偏食がひどかったので、似たようなことをしていました。「これ食べたら、これあげるよ」と家から持ってきたミカンをこっそりあげたり。そうやってちょっとずつ給食を食べさせているうちに、高学年になると、何でも食べられるようになりました。

<先生との関係>

Q. 担任の先生タイプによって対応を変えざるを得ない、と思うのですが、新米の先生やベテランの先生など、いろんな先生にどう接し方を工夫したか、教えて下さい。(Bさん)

いつもベテランの先生ばかりで、新米の先生に当たったことは一度もありませんでした。先生とは距離を置くようにしました。しかし好感は持ってもらわないといけなかったので、会うたびに笑顔であいさつを欠かしませんでした。大変なことがあるたびに「先生、大変ですね。私ならできないと思うわ」などとねぎらいの言葉をかけました。

Q. 先生が遠慮して、他の子供たちを叱れない、ということはないですか？(Eさん)

あまりないと思います。先生の態度はいちいち気にしませんでした。プロであれば、親が教室にしようとなんとしかるべき時は叱れるはずだ、と思っていましたから。

Q. 例えば先生が見るからに多忙な休み時間の時、手伝いも何もしないでいいものなのでしょうか。保護者なので率先していろいろやるのもおかしいと思いますが、実際、どうされていましたか。シャドーに入ると、私は何となく自分が「副担任」のような気になってしまうのです。でもそんなことをしてくるとくたびれると思いますし。経験談を聞かせて下さい。(Hさん)

たまに手伝いもするけど、あまりしない方がいいと思います。手伝いをされるのが嫌な先生もいるから。出すぎたことはしない方がいいです。ただし娘の分だけは手伝います。

<他の親との関係>

Q. 他のお子さんの親に対して、スクールシャドーについてどのような説明をしましたか。(Gさん)

幼稚園の時は私が説明しましたが、小学校の時は入学式で校長先生が説明してくださったので、私たちはしていません。

Q. 他の児童の父兄に直接あるいは遠回しに迷惑がられたことはありませんか。(Dさん)

ないです。知らないだけかもしれないけど。

Q. 快く思っていない先生や他の親たちに対してはどのような姿勢で接するべきでしょうか。ぺこぺこと低姿勢がよいのですか。それともいやがらせや中傷などは無視して、毅然とした態度で接するべきでしょうか。

誰とでも挨拶をします。行事とかあるたびに、うちと同じグループになった親に会うたびに、「うちと同じ班です。うまくいかなかったらごめんね。たぶんいい写真撮れないと思うわ。ごめんね」と手を合わせます。そうするとお母さんたちは、「そんなことありません」と恐縮してくれます。

<時間のやりくり、家事との両立>

Q. 現在妻が週2~3回、幼稚園のシャドーに行っているのですが、かなり大変なようです。今年では来年の小学校入学に向けて、学校との交渉が始まります。しかし妻の負担を考えると、本当にシャドーを続けていけるのか心配です。

そこで質問ですが、学校に行っている間はもちろん家事はできません。家に帰ってから家事もして勉強を教えてセラピーもする、となると、時間的に足りなくはないですか。

1日をどのように工夫して過ごされているか知りたいです。(Aさん)

Q. 朝、一緒に登校を毎日するとなると、持参するお弁当なども、ろくに作っている時間もないと思います。洗濯干しなどの家事も含め、どのようにこなしていましたか。(Hさん)

Q. 1日のスケジュールを教えてください。・・・シャドーをしながら、家庭でのセラピー、また勉強の指導、そして家事、とても大変なことと感じます。

それも、毎日続けるとなると・・・私には想像もつかないことですので、具体的にどのように時間を使われたのかとても知りたいです。・・・シャドーをしながら、家庭でのセラピー、また勉強の指導、そして家事、とても大変なことと感じます。

それも、毎日続けるとなると・・・私には想像もつかないことですので、具体的にどのように時間を使われたのかとても知りたいです。

夜中に洗濯し、朝、6時15分に起きて、服を干します。それから食事をとったりいろいろして、7時20分に子どもを起こします。朝食は夫が用意してくれます。7時50分が集団登校の集合時間です。登校には夫が付き添ってくれました。8時20分ごろまで、掃除などをできるだけ(全体の半分くらい)してから、登校して、夫と交代します。小学校低学年のころは、2時半から3時くらいに帰ってきて、子どもがおやつを食べたり、本読みや公文のプリントなどをしている間に、1時間から1時間半ほどかけて、残りの家事を済ませます。それから一息入れて(テレビをつけてお茶を飲みます)、4時頃から6時半あるいは7時ごろまで子どもの宿題を見ます。それから晩御飯の準備をします。7時半ごろに晩御飯を食べます。日によっては晩御飯の後もお勉強を見ます。それからお風呂に入って10時~11時に寝ます。

Q. 妻が精神的に燃え尽きてしまわないか、心配です。精神的な意味も含めて健康を維持しつつシャドーを続け、セラピーや勉強を教え続けるのに、何か秘訣はあるのでしょうか。(Aさん)

やっているうちに元気が出てきます。嫌なことがあったら、おうちで先生の悪口を言ったりします。

Q. 心底疲れたときに、どうやってモチベーションを維持したのですか。(Dさん)

そういうときもたくさんありました。でも「やめたらこの子はどうなるのか」と思ったら、元気が出てきました。

<その他>

Q. シャドーはフェードアウトしていくのいいと思うのですが、奥様がそうできないと感じた理由を教えてください。(Bさん)

家は低機能だし、恥ずかしいことをたくさんするので、もしそんなことを学校でやったら、この子の尊厳にかかわるから

Q. 高学年でのシャドーの注意点を教えてください。(Jさん)

特に女の子が陰険になっていくので、陰湿なグループに近寄らないよう、標的にならないように気をつけます。

Q. シャドーやセラピーを続ける妻にとってありがたい夫の支援または協力とはどんなものとお考えですか。(Aさん)

愚痴を聞いてあげてください。

Q. 長年シャドーをしてきた中で、よかったなあと思うこと、困ったこと、ハプニングなどのエピソードがあったら、教えてください。(Bさん)

すべて良かったと思います。シャドーをしていなかったら、この子はここまで来れなかったと思うから。